

日比谷の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 28点 大問4 32点 大問5 20点

2025年度試験問題

目標点 62点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
	(1) 真率な人柄	B	2		問1 内容把握	A	4
	(2) 甲高い	A	2		問2 内容把握	A	4
	(3) 中葉	A	2		問3 内容把握	B	4
	(4) 地団駄	A	2		問4 内容把握	C	4
	(5) 謹厳実直	A	2		問5 内容把握	B	4
大問2	漢字の書き			問6	250字作文	C	12
	(1) ゲンカに否定	D	2				
	(2) ナマビョウホウ	C	2	大問5	現古融合文		
	(3) イサイは後日	B	2		問1 内容把握	A	4
	(4) カキウ的速やかに	D	2		問2 内容把握	B	4
	(5) 原点にカイキ	A	2		問3 内容把握	B	4
大問3	小説文			問4	語彙	A	4
	問1 心情把握	A	4	問5	内容把握	C	4
	問2 心情把握	A	8				
	問3 心情把握	B	4				
	問4 心情把握	A	4				
	問5 表現の説明	A	4				
	問6 心情把握(80字記述)	C	4				

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き 3 小説文(約4000字)
4 論説文(約3000字) 5現古融合文(約3000字)

講評 文章量が昨年より約1200字減少している以外は例年とほぼ同じ出題傾向。
1 中学生にとっては日常生活で使用する機会が少ない熟語が出題されるので注意。

- 2 個々の漢字は難しくないので、意味を推測することが難解で、高難度の問題。
大問1同様、漢検・読書等を通して、多くの言葉に接することが大切。
3 砥上裕将「一線の湖」より出題(2025西高校でも出題された文章)
絵師として「水墨画」の世界に進むべきか迷う主人公が、周りの人との交流を通じて「水墨画」の世界に魅了される姿を描いている。現代が舞台なので、記述以外は難易度がそれほど高くはない。
4 「個人」の誕生について述べた論説文。(山崎正和「柔らかな個人主義の誕生」)
日比谷受験生にとっては標準的な文章。昨年度と比べて文章量が大幅に減り(約4500字→約3000字)、250字作文に使える時間がとれたはず。
作文の題「公共への参加」について筆者の考えを踏まえ、集団や社会とのかかわりについて自分の考えを書く。(←昨年度より難易度はアップしている)
5 西行がテーマの現古融合文(白洲正子「西行」)
和歌の直後に現代語訳や筆者の解釈があるので、比較的、解きやすい。
大問5を先にやり、大問4へ進んだ方が時間的に余裕が生まれるだろう。

日比谷の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点(記述2題)

2025年度試験問題

目標点 65点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形(円)		
	問1 根号を含む計算	A	5		問1 三角形の求積	A	7
	問2 計算の工夫	A	5		問2(1) 相似の証明	B	10
	問3 確率(サイコロ)	B	5		問2(2) 線分の長さ	C	8
	問4 反比例・格子点	B	5				
	問5 作図	A	5				
				大問4	空間図形(影)		
大問2	二次関数						
	問1 三角形の求積	A	7	問1	半球の体積と水面までの高さ	A	7
	問2 傾きの利用	B	10	問2(1)	水面までの高さ	B	5
	問3 最短距離と線分の長さ	B	8	問2(2)	水面までの高さ	C	5
				問3	半球の体積と水面までの高さ	C	8

問題分析

- 1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形(円) 4 空間図形(半球・円柱) 出題傾向に変化はなし

講評 今年度も記述が2題。「時間は与えるので、しっかり答えを出して欲しい」
という学校側の方針が伝わる。本年度も昨年同様に、取り組みやすい問題が多い。

- 1 例年通り。小問集合5題。今年は「2025問題」が出題された。
全問正解を目指したい。計算力は重要。
2 例年通り、二次関数の出題。標準的な問題なので、全問正解を目指したい。
座標を文字で置くことは定番だが、三平方の定理と一緒に使うことは練習が必要。
3 円の問題。問1 面積を求める問題は基本的。問2が可否の分かれ目。
円に関する問題の練習量が問われた。
4 空間図形。今年は「半球・円柱」に関する問題。今はやりの、問題文が会話形式になっている。
必要な条件を読み取る力が必要。適切な図を「自分で書けるか」がポイント。

日比谷の英語

配点 大問1 20点 大問2 34点 大問3 34点 大問4 12点(英作文3題)

2025年度試験問題

目標点 60点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	説明文読解		
	問題A 対話文1 内容一致	A	4		問1 内容一致	A	4
	対話文2 内容一致	A	4		問2 英作文(30~40語)	D	10
	対話文3 内容一致	A	4		問3 語句整序	B	4
	問題B Q1 内容一致	A	4		問4 不要文選択	C	4
	Q2 内容一致記述	B	4		問5 内容一致	B	4
					問6 内容一致	B	8
大問2	対話文読解						
	問1 通文補充(4ヶ所)	A	8				
	問2 適語選択	B	4	大問4	英作文		
	問3 英作文(10~15語)	C	6		自由英作文	C	12
	問4 内容一致	B	4				
	問5 内容一致	A	4				
	問6 内容一致	B	8				

問題分析

英文章量約2500語

- 1 リスニング 2 対話文 3 説明文 4 英作文 記述の配点 28点/100点

講評
1 BのQ2の正答率が56.7%と低い。単語スペルミスや冠詞の用法の誤りに注意。
2 ハチの巣やその構造についての対話文
問3は会話の流れに合うように、空所に入る発言を自分で書く英作文。難問である。
①ハチの巣、②その形状、③形状の理由について触れる必要がある。
3 ガラス素材が私たち人間の生活の中で、どのように活用されてきたかについての説明文
問2は英語で理由を2つ答えるもの。本文中から理由となる箇所を2ヶ所探さなければならないので、時間との勝負になったのではないかと。
4 連続する3つのイラストの状況説明をした上で、自身の考えを50字程度の英語で記述する問題。
難しい語彙・表現や構文を無理に使用する必要はないので、中学までに学習した語彙と文法事項をうまく使いこなして、平易な文章で正確に表現できる力をつけるようにしよう。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2025目標点 英数国187+理社175=362
目標内申 63/65

難易度の標記

A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
C: やや難問(可否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D: 難問(1問でも出来れば良い) 目安→正答率39~11%
E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下